

はたはた

教育長 千葉良一書



夕陽の日本海

故郷に応援できたこと

八峰町関東ふるさと会会長 神馬 信一



会員の皆様方には益々ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。平素は当会に対して格別のご厚誼を賜り心よりお礼申し上げます。

昨年10月26日から5日間、JR上野駅構内で八峰町産業振興課の出店において販売応援スタッフを当会の役員が延べ14名派遣できました。

12月1日と12月2日の2日間、築地本願寺で行われた「ハタハタまつり」に当会としてお手伝いできました。この催しに際しては、八峰町より「ホッケのつみれ汁」を2日間で200杯作って販売することでしたので、なんとか対応できると思っていたところ、急遽秋田県の目玉である「ハタハタのシヨツル汁」を2日間で400匹(400杯)無料で振る舞うことに決まったことです。非常に不安でしたが、県・町の方々のご助言を得ながら行動するしかありませんでした。終ってみれば「ホッケのつみれ」が大盛況で2日目の分に食い込み補充分を八峰町より直接運んで対応したこと、主材である「ハタハタ」と「つみれ」には数に限りがありました。ネギ・豆腐の量が多く残ったため、だしのた鍋にネギ・豆腐を入れた「？鍋」として振る舞い大盛況でした。入場者数は当初一万人と見込んでいたところ、2日で一万三千人と三千人オーバーして大変でした。知事も大満足し、記者会見では思わず来年もやる

ことを発表したようです。今年は11月30日(土)と12月1日(日)を予定していますので、会員の皆さんは是非お出かけしては如何でしょうか。

八峰町での嬉しい出来事としては、皆さんご存知のように学業は常にトップクラスですが、最近ではスポーツ面でも話題が豊富で、中でも全日本学童軟式野球大会で、八森ブルー・ウェーブ(八森小)が秋田県代表として、八月七日に神宮球場で一回戦を行いました。秋田の応援に来られた方は、約150名その内八峰町関東ふるさと会の会員約50名とその知人等を合わせると、約70名の大勢で応援することができました。炎天下の中応援では対戦相手徳島を大きく上回っていましたが、おしくも2対8で初戦を飾れませんでした。応援ありがとうございました。

また今回ビックリしたことは、神宮球場から開会式と八森小の試合の様子を光ファイバーを利用して八峰町に放映したことです。八峰町では、2日間に三百数十名の方々が観戦したそうです。神宮球場から発信できたことは今回が初めての試みだったようです。さすが「八峰町」ですね。最後になりましたが、会員並びに八峰町の皆さんのご健勝とご多幸と八峰町の益々の発展を心からご祈念申し上げます。

少子高齢化の現状

八峰町長

加藤 和夫



関東ふるさと会員の皆様には、ご健勝
でご活躍のことと思います。

八峰町ふるさと会となって、早くも五
回目の総会を迎えられたことをお慶び申
し上げます。

常日頃は、ふるさと納税はじめ、物産
販売への協力や各種イベントへの参加、
そして神宮球場での学童野球応援等ご支
援頂き感謝申し上げます。

さて、今年三月、社会保障人口問題研究
所は、地域別将来推計人口を発表しまし
た。

それによれば、八峰町の人口は、平成
二十二年の八千二百二十人から平成五十
二年には四千七百七十九人と約半減する推
計であります。

日本全体が人口減少時代に入っていま
すので、止むを得ないことかも知れませ
んが、人口減少、少子高齢化をどう克服
していくかが町にとって、これまで以上
に難題であります。

今年、町内三小学校の児童数は二百九
十七人、二中学校の生徒数は二百人であ
ります。

これに対し、高齢者が学習している「こ
とぶき大学」の学生は、四百八十六人で
ありますから、来年には小中学生の数よ
り多くなるものと思います。

少子化の影響により、昨年度開催した
学校適正化検討委員会からは、統合も視

野に再編を検討するよう答申が出され、
それに基づき、今年度、具体的検討に入
りました。

こども園も八森地区の三園を来秋には
統合しますが、峰浜地区についても検討
が必要となるでしょう。

一方で、高齢化の進展に合わせ、町内
には五グループホームが開設されてお
りますが、現在、特別養護老人ホームでは
三十床の増設が進められております。

これらの動きから、少子高齢化の現状
をご理解頂けるのではないかと思います。

町としても、人口減少に少しでも歯止
めをかけるため、農林漁業や観光を中心
に産業振興を図り、雇用の場を確保する
ことや若者の子育て支援策の充実、健康
長寿を維持し、安心して暮らせる環境づ
くり等様々な施策を展開し、誇りを持つ
て八峰町に住み続けることが出来るよう
懸命に努力して参りましたが、尚一層精
進してまいる決意であります。

ふるさと会の皆様には、常にふるさと
八峰町に想いを寄せて頂き感謝しており
ますが、高度成長期から始まった都市へ
の人口流出が過疎化を増長した一因でも
あります。

事情が許すなら、ふるさとへ回帰して
町づくりに参加して頂ければ有難いと
思っています。

八峰町も八年目に入り、名実共に町民
一体となり頑張つてまいりますので、関
東ふるさと会員の皆様には、これからも
ご支援よろしくお願い致します。

結びに、関東ふるさと会の益々のご発
展と会員皆様のご多幸をご祈念申し上げ
ます。

望郷

八峰町議会議長

須藤 正人



八峰町が誕生してから八年目を迎え、
八峰町関東ふるさと会が発足してから五
年目の今年、会員の皆さん、お元気でし
ようか。

時折、議員の研修等で東京方面に出張
する機会がありますが、ビルの谷間に
立った時、都会の喧噪の中で仕事をし生
活を送られている皆様の心情をさっす
に、会員の皆様の力強さ、逞しさがひし
ひしと伝わってくるような気がいたしま
す。

今年、白神山地が世界自然遺産に登
録されてから20周年にあたります。
2013NHK 夏キャンペーンで Shirakami
Sound Shower「白神音楽祭」が残念なが
らの悪天候のため中止となりましたが、
10月12日、13日には「まるごと八峰自然
体験ツアー」など白神山丸抱えの記念
イベント等盛りだくさんの行事が予定さ
れております。

今年の干支は巳年です。白蛇は神の使
いともされ、幸運を呼ぶと言ひ伝えられ
ます。奇しくも、「白」が冠の白神

山地が20年の記念年として迎えるのもま
た縁起が良いものと勝手に解釈してお
ります。日本海、真瀬川、水沢川、高峰山
など海・山・川と豊富な自然が皆様の心
の中に、思い出の中にあることとご推察
いたします。たまには、ふる里「八峰町」
へ帰郷され、大自然にふれてみてはいか
がでしょうか。

過日、第23回参議院選挙が行われ与党
が大勝しました。大震災の後の復興に向
けて、いつその迅速な対応が望まれる
ところであり、地方経済の活性化にも期
待するところが大きいです。

今年も総会で皆様方と再会し、盛会に
交流がなされることを心待ちにしており
ます。

我がふる里「八峰町」を思う皆さんの
琴線に触れ、心新たに明日への活力にし
たいと存じます。よろしくお願い申し上
げます。

最後に、会員の皆様のご健勝と関東ふ
るさと会の益々のご繁栄を祈念して挨拶
とします。

高齢化世相〈才覚を求めて〉

松尾 長二郎（八森椿台出身・世田谷区鎌田在住）



◆高齢は資格でも、功績でもない

●私は1930年（昭和5年）生まれの、いわゆる「後期高齢者」である。後期高齢者医療制度が施行されたのは2008年4月で、ご存知の如くこの制度によって家族に扶養されている人を含め75歳以上のすべての後期高齢者が保険料の負担を求められ、大多数が年金からの天引きで保険料を徴収される様になった。当時のテレビで、後期高齢者にあたる男性が「我々を殺す気か」と腹を立てていた。又、

制度に反対する人の中には「私たちは、ごろつき、ですか！」と嫌らしい言い方で食ってかかっている女性もいた。「後期高齢者医療制度」スタート時、差別的名前と批判され、政府は後日「長寿医療制度」という通称を使うよう求めた。

●高齢社会白書によると、後期高齢者の数は増え続け、2055年には75歳以上が26.5%に達し、現役世代（15歳～64歳まで）の1.3人が後期高齢者1人を支える社会になると推測されている。そうなると出来る丈、若い世代に、負担をかけるせない様にしよう、と思うのが当然だろうが、然し実際はそうでもないらしく「私達は老人だから○○○してもらって当り前：」と思っている人のほうが多いようである。バスの中で老人から席を要求される前に若者が席を立つことが望ましい：とは思いますが、「老人だから譲って

もらう権利がある：」と、ふんぞり返って、いいものでもない。

「高齢である」という事は「若年である」と、云うのと同じの状態を示している丈にすぎず、それは善でも悪でもなく、資格でも功績でもないのである。

しかし日本の年寄は「席を要求して当り前」、「親切にされて当然」、「老人だから：」、というような風潮が何時頃から顕著になったのだろうか？

◆老いる才覚（機転）〈才覚のない老人の増加〉

●才覚と最近よくいわれるが、要するに今迄得たデータを駆使して、最良の結果を出そうとするシステムのことである。

昔の人はそのシステムが頭の中に入っていたという。この様な状況のとき、自分はどうすべきか。この方法がダメだったら、次はどうしたらよいか……と機転を利かせて答えを出していた。……それが才覚であった。最近、地震災害などがあると「頭が真っ白になって何も考えられない：」と話している被災者がいる。若い人は「頭が真っ白で何も考えられない：」のが自然なのかもしれない。然し少なくとも戦争を体験している世代が、戦時下で頭が真っ白になるような人はおそらく生き延びられなかったであろう。

●才覚のない老人が増えて原因の一つは、「基本的な苦悩が少なくなったから」、

と云われている。望ま……ことではないが、昔は戦争があり、食料貧困があり、不治の病あり、台風や地震による自然災害も多く災難続きだった。この様な世相時代だった故に、ある程度運命を受諾し、また災害を自分たちでどう防ぐか？他人や国に頼らず知恵を絞らあつたのである。然し今は戦争がなく、明日までの生死の区別は不明……という苦悩がない。医療が進化して病死者も減少し、救急車に無料で乗れる国は非常に少なく、また国民健康保険や、国民年金、生活保護法がある国は極めて少ない。

●「日本は経済大国なのに、どうして豊かさを感ぜられないのだろうか？」とよく言われるそうだが、答えは簡単に「貧しさを知らないから豊かさが分からないのだ」と、いう事である。

・今日も明日も食べ物があつて当然

・水栓をひねれば水が飲める

・飲める水を使つて風呂に入り、トイレを流している

……今ではそういう生活が当たり前になり、もともと人間が生きているという事はどういうことなのか全く無知な？おめでたい老人が増えたのである。これは若者も同じながら原初的な不幸の姿が見えなくなった分、有り難みも解らなくなり、そのために要求することが余りにも大きい老人世代が出来たのだと思わざるを得ない。

◆老いの基本

●どのような老人になりたいのか？私は人生の後期にさしかかった頃から折に触れ、その重大さを感じる様になった。自立とは、ともかく他人に依存しないで生

きる事、即ち自分の「才覚」で生きる事なのです。老人と云えども強く生きなくてはならない。歯を食いしばってでも自分のことは自分でする。これはまさに人間共通の運命です。

●年を重ねるにつれ、自立の大切さを感じる様になったと述べましたが、一般的には経済上、肉体上の自立を意味します。然し同時に、自立を可能にするものは自律（自己の規律に従い、他から拘束されない）の精神であるという事も解る様になりました。このことをはっきり認識することが自律のスタートであり、正に「老いの基本」は「自立+自律」であることを知るべきでしょう。（了）

〔参考資料〕「生涯学習研修会」に学ぶ

・鯉跳ねし 音したたかに 朝桜

・咲き満ちて 潔よく散る 山ぎくら

・あじさいの けなげに競う 花曇り

・散り際は 風も頼まず 百合の花

（詠人 松尾黄雀風）



真瀬川釣行

石嶋 喜隆(岩館出身…あきる野市在住)



私は昨年まで6年間連続で春の連休に真瀬川とその周辺の川で溪流釣りを楽しんでる。

60歳を過ぎて会社での立場が気楽なものになり、ついには給料も安くなったので、有給休暇を全部消化してしまおうと思ったのがきっかけだった。

溪流釣りを始めたのは、当時、世の中の最先端産業だったコンピュータ関連会社に就職し、24時間365日保守要員として保守を担当することになり、仕事に慣れるに従いストレスがたまるようになり、これではいけないと思い始めたのがスキューバーダイビングとスキーだった。これは性が合い長く続いたが、やがて保守エリアが立川地区になった時、趣味に溪流釣りが追加されたのだった。

休日のたびにザック1つで電車で奥多摩へ出かけ、1日遊んで釣った魚を行きつけの飲み屋に持ち込んでそれを肴に一杯飲めば、今までのストレスがきれいに解消されるのであった。

やがて世の人達と同じように自分一人で海だ、山だと出かける事が出来なくなり、全ての遊び道具が物置の隅に埋もれることになってしまった。それを何十年ぶりで引っぱり出して一振りしてみる、大枚をはたいて買ったカーボン竿は、どこも傷んでいなかったが、その他の道

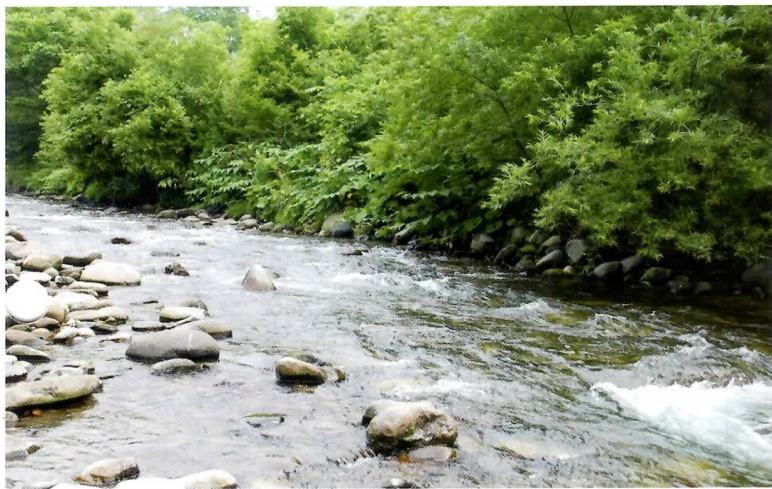
具、特にバカ長はボロボロだったので竿以外のものを一新して勇んで入渓したが7年前の真瀬川だった。

しかしいざ現地に着してみると、昔の記憶にある川と違うのである。堰堤の場所、淵の場所が違うので全く新しい川で釣りをしている様だ。本人の記憶違いと川の変化によるものだろうが川全体の印象は変わっていないので「まっぴいかに」である。

昨年(平成24年)は雪が多く、春先の気温も低かったので桜は遅いだろうと思っていたが、予想に反して4月に入ってから好天候が続き下旬に一気に満開になり数日で散ってしまった。真瀬川では連日の高気温で残雪が雪解け水となり、大増水のためいつも入渓しているところに入る事が出来ない状態だったが、あちらこちらと車で移動し、下流でどうにか入渓地点を見つけ、結果は30センチメートル超え岩魚を2匹、どうにか格好がついた年であった。

さて今年はどうかと、雪は昨年同様とも多い。残雪も多く川の水も多い。違うのは気温である。テレビによると東京では桜の開花が2週間以上早かったが、東北地方はかなり遅れているとの事だった。

6時起床で川に向かい、何時のところまで車を降りると、体がゾクリとする寒



さである。4月後半なのに真冬の寒さなのである。冬対策をしてこなかった私はすぐに今年の釣りを諦めてしまった。全く根性なしになってしまったものだ。すぐ山菜採りに切り替えて県境近くの山をうろうろし、アザミをガラ袋に一杯、タラの芽は少し早かったが大型レジ袋に一杯と、こちらはそれなりに満足な結果だった。桜の開花はだいぶ遅れて帰省中に花見をすることは出来ず残念だったが、さて、来年はどうなるか。今から待ち遠しい日々が続くことになる。それまでは奥多摩でお茶をにごすことになるが、それはそれでよし。来年の真瀬川への期待が大きくなるというものである。

真瀬溪谷

真瀬溪谷は秋田県八峰町にある新緑と紅葉の名所です。世界遺産白神山地の原生林から流れ出る真瀬溪谷沿いに約2.5km、所要時間約40分の散策路が整備されています。

- ・観光時期：4月～11月 ※冬の間は通行止めとなっている
- ・紅葉見頃：10月上旬～10月中旬
- ・アクセス：八森駅から車で約10分、秋田道能代南ICから1時間
- ・駐車場：森林科学館「八森ぶなっこランド」に駐車可
- ・所在地：秋田県山本郡八峰町八森三十釜



生薬(薬用植物)栽培について

加賀 亮司(八森出身・千葉市在住)



八峰町と東京生薬協会は昨年「生薬の栽培の促進に関する連携協定」を締結し試験栽培が進められています。この協定の背景と意義等について述べてみます。

日本の医薬品原料の生薬はほとんどが輸入に頼り、その輸入料の80%近くが中国産です。

近年は中国による資源外交や野生品の減少等の影響もあり、良質な生薬を安定的に確保することが製薬企業にとっての課題となっております。

さらに、国際的には生薬の需要は増加傾向にあり、加えて中国国内の消費拡大もあって中国産生薬が高騰し、この趨勢は止まらないものと思われまます。

国内においては、東日本大震災により薬用植物の一つの栽培地である東北地方が壊滅的な被害を受けました。

同時発生した福島原発事故は放射線汚染問題を越し、国が指定する17都県(秋田県含む)で生産する生薬から放射能が検出されてはならないという厳しい基準が示されました。(幸い秋田県はこの影響が少なく、特に八峰町はほとんど検出されていません。)

このようなことから、国内栽培をして生薬の安定供給を行う取り組みが始まっているわけですが、連携協定は生産農家と製薬企業との契約による従来の取引から、行政と公益団体が共同して生薬の生



産システムを構築しようとするものです。試験栽培で栽培方法、種苗の確保等を確認して、生産農家に均一の栽培技術を提供しようとするもので、八峰町の農業に大きな可能性を与える意義のある事業と思われまます。

一方課題もあります。中国産の生薬が高騰していると言いながら、国内生産コストからはまだまだ廉価であり流通価格に対抗するには相当の工夫が求められます。また、品質の確保も重要な要素です。

このような課題も乗り越えて、将来は栽培事業から生薬の加工工場を持つ生産事業に展開することを期待しています。

株式会社龍角散 特任顧問

私の故郷

星野 正子(旧姓森田)(三ツ森出身・日野市在住)



早いもので、私が上京して四十年が経ちました。来年、六十歳のお祝いをする旨、水沢小・沢目中学校の同級生から連絡があり、もうそんな年齢になったかと思うと不思議な気持ちになります。

長く東京で生活していても「秋田」と言う言葉を耳にしたり目にしたりすると、ふと立ち止まったりすることがあり、あらためて故郷のある自分は幸せだなあと思えます。そして、いつまでも自然豊かな故郷であって欲しいと思います。

子供達が小さい頃は、夏は「秋田」へと言う事が、我が家では定番になっていました。海、山、花火 etc 夏の思い出を沢山作りました。大人になった今でも話題になる時があり、東京生まれの夫や子供達にはとっても良かったと思います。特に次男は五能線が大好きで、列車の通過した線路に耳をあてていたこともありま

した。しかし、今では列車の本数も減り、人口も減り、高齢化が進み、更にバス等の足の便も悪くなって、高齢者ドライバーが増える結果となっているようです。もう少し公共の交通機関が充実していれば、高齢者ドライバーが減り、みんなが安心して暮らせる町になるのではないかと思います。来年の六十歳の祝いへは、ぜひ参加したいと思っています。



母校の沢目中学校は、名前も建物もなくなつてしまいましたが、思い出は沢山あります。故郷にいる同級生、故郷を離れて暮らす同級生と久しぶりに再会し、昔話に花を咲かせるとともに、ちよつぱり故郷の将来のことも話せればよいなと思っています。

ふるさとへの伝言「ブナの里親募集」

NPO 法人

白神ネイチャー協会

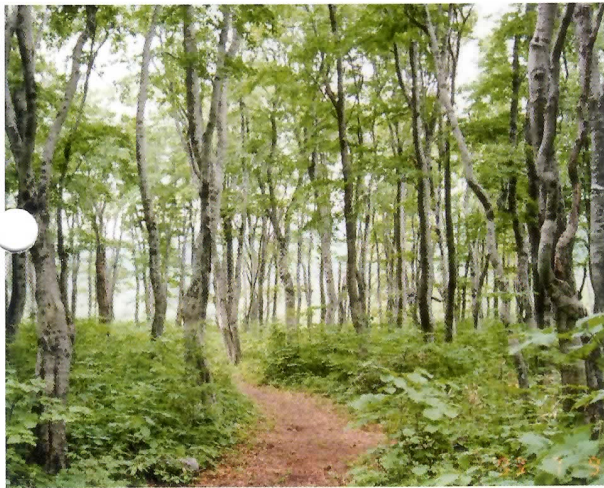
副会長理事

山本 優人 (中浜出身・八森在住)



わが町には「白神山地」(今年、世界遺産登録20周年)、「ジオパーク」の二つの自然資源があります。生まれた時からずっと見ている山並みが突然「世界遺産・白神山地」と言われても、生まれた時から遊んできた岩場が稀に見る数万年前に出来た奇岩と言われても、山や海は少しも変わっていないけど、それを自然資源として観光や山川海の恵みを利活用していくこうとしています。

ふるさと会の皆さんがまだ八森・峰浜に住んで居た頃の春は、田植えになると遊び仲間田んぼの畔(田んぼの境)に生えているスカンク・サク(野草)をおやつ代わりにしながら畔を駆けずり回ったり。田植えの作業も昼時となると、田んぼの中にある土手に田植えに借り出された近所のモンベ姿の母ちゃん達が泥の付いたままの足を投げだして、世間話やフキの煮付けの方法を肴に、夜なべして作った地物を使った山菜の煮付け、赤飯などの「こつつそう」をサシドリ(野草)の葉っぱに包んで、箸はその辺から折ってそろえた小枝で間に合わせた。葉っぱや小枝を採るのは子供の仕事であったが、その季節その場のもので済ませることが出来たのは、親から子・老妻から若妻へと受け継がれて来た野草の知識やそれを利用する知恵や伝承があった。



化し生活が豊かになったといわれるが、子供のためにと環境を整えることが生きていく知育を衰えさせ、地域が衰退し人が退化していると思うのは考えすぎでしょうか。この地に代々住み続けてきた私たちは、このことに自信と誇りを持って、受け継がれてきた生きるための知育の伝承者として、我がふるさと山・川・海の恵みが絶えることない環境を育てて行くことが使命なのではないかと思っております。

ふるさと会の皆さん、あなた方を育てたふるさと山々にブナ苗木を植樹しようよ。それは、今でしょ！

能代で暮らして

芹田 千ヤ(目名湯出身・能代市在住)



小鳥たちのさえずりで目覚め、窓を開けると朝日に輝く白神山地が見えて、とても清々しい気分で一日が始まります。

50数年の都会生活から生まれ故郷に帰って一番不便なことは移動することです。在京中は駅まで3分、銀行、コンビニ、スーパーまで10分ほどで行けたのにと思いがながら2年の月日が過ぎましたが、落ち着くまでもう少し時間がかかりそうです。こちらへ来てから十和田湖、田沢湖、後生掛温泉等に出掛けのんびりできました。

幸いにもご近所の皆様方がとても温かく接して下さるので心から感謝しております。

私も町内の行事には積極的に参加して交友を深めてゆきたいと思っております。今はグループでノルデックウォーキングを月に8回程やって健康であることを願って歩いています。又食生活でも地元美味しいお米、野菜、果物等を食べて長生したいです。



ノルディックウォーキングとは？

◆発祥について

1930年代初めにフィンランドのクロスカントリースキーチームの夏場のトレーニングとして、ポールを持ってハイキングやランニングをしたことから始まります。その後この新しいエクササイズを一般の人々に紹介する動きが高まり、国際的に「ノルディックウォーキング」という言葉で定義されました。

◆効果について

通常のウォーキングでは心拍数がおよそ130拍/分なのに対して、ノルディックウォーキングは147拍/分と約13%上昇します。また、ポールを使用する事によって、エネルギー消費量が通常のウォーキングに比べ、平均20%上昇します。通常のウォーキングでは1時間当たり280kcalの消費ですが、ノルディックウォーキングでは400kcalの消費となります。

他にも、首、肩にかけての痛みやこりを解消し、ポールを使用することで、腰や膝への負担も軽くなります。

また、坂道も楽に歩けるので「坂の街小樽」の地形や自然にぴったりの運動である上に、滑りやすい地面ではポールが杖となり安全です。

口今ふるさとを満喫中

笠原均(下カッチキ台在住)



誕生しました！八峰白神ジオパーク

ジオパーク 工藤 英美



皆様こんにちは。昨年八月、長年住み慣れた東京を離れ、私の生まれ育ったカッチキ台にUターンしてきました。あつという間に一年が経ちました。

秋田に帰ったら、観光・温泉・美味しい食巡りをしようね。…と二人で話し合ってきましたが、残念ながら未だにその夢を果たせていません。

と申しますのも、この一年は、老人ホーム慰問等民謡ボランティア活動、カラオケ歌謡ショー出演・ボーリング大会等々、楽しく多忙な日々を過ごしていました。更に今年三月に、知人からカラオケ・スナックをやってみてはと紹介され、突然でしたが、四月二日にカラオケサロン「水沢(みんちや)」を能代市内にオープンしました。昼はカラオケ営業、夜はスナック営業をして、夫婦二人で奮闘中です。ようやく接客にも慣れ、毎日お客様と楽しい時間を過ごしています。八峰町の皆様には、平素、ご愛顧をいただき感謝申し上げます。ふるさと会会員の皆様、秋田にお帰りの際、是非お立ち寄りください。お待ちしております。

また今年、能代で復元した明治期の大型七夕「天空の不夜城(高さ10.9メートル)」運行時のお囃子(笛の吹き手)ボランティアとして八月三日・四日の両日参加しました。スナック営業を家内に任せ、年を忘れて燃えに燃えました。この

二日間は、心地良い疲れと充実・達成感で一杯でした。

この一年を振り返りますと、冬の厳しさもありますが、毎日忙しい中にも、やはり「ふるさと」っていいな。帰ってきて良かった。としみじみと感じています。何よりも、県外出身者の妻を温かく迎えてくれている私の同級生の皆さん、本当にありがとうございます。妻ともども心から感謝しています。

私は冬以外、毎朝の散歩を日課にしています。小鳥の鳴き声で目覚め、尺八・横笛を手に松林で戯れるリスを見ながら、砂浜の流木に腰をおろし、右手には白神山地、八森・岩館海岸線、左手には能代から男鹿半島までの海岸線を眺めながら、波の音を傾け、心地良い気分を味わっています。

ふるさと会会員の皆さん。豊かな自然と温かい町民に囲まれた人情味溢れる八峰町。良いですよ。



昨春秋、念願の日本ジオパークの一つとして本町一円が認定になりました。申請書に書き込まれた申請理由のトップは世界自然遺産となつている白神山地と八峰白神ジオパーク地域が相接していること、それが又地質や地形と白神山地の動物の生きる様子が一体となつて、地球全体のしくみを体感できるパークであることを強調してありました。

世界自然遺産とジオパークが一体となったジオパークは日本では初めてであります。

白神山地の価値は、1998年に女優の星野知子氏の言葉「縄文杉に象徴される屋久島の世界遺産は写真一枚見れば、その価値が理解できるが、白神山地がなぜ世界遺産となつたのか最初は疑問に思った。しかし、白神山地に初めて足を踏み入れた時、新潟で幼い時に感じた素朴な風景とよく似ていた。山の匂いも同じで、なんととってもブナ原生林が魅力。」「白神の四季は美しく変化する。こんな美しい山は国内では限られている。」に良く表現されています。

この森を支えている地質(ジオ)も含めて立体的な公園(パーク)を構築したことが日本ジオパーク委員会に認められたのではないかと考えています。当ジオパークには7つのコース(サイト)が設定されています。

○砂丘ジオサイト(砂あらしに苦労した先人たち)

○段丘ジオサイト(美しい風景の立役者)

○素波里安山岩ジオサイト(恵みをもたらした火山活動)

○海底火山ジオサイト(白神山地を見守るスフィンクス)

○花こう岩ジオサイト(ゴマ石の古里)

○地すべりジオサイト(地すべり地帯とブナ天然林)

○鉱山資源ジオサイト(文化をもたらした鉱山資源)

訪れる人々は目を追って増えています。そして、とても楽しんで帰路に着いています。皆さんも八峰白神ジオパークを楽しんでみませんか。



レーシングカートを楽しみませんか

白木 仁(中浜出身・市原市在住)



ふるさと会の会報なのにふるさととは全く関係の無い内容をお許し下さい。

小さい頃から車が好きだった私の夢はレーサーになる事でした。でも、能力的にも経済的にも困難な現実を知り、いつか会社と子育てに埋没してしまいました。

その様な中、18年前に市原市に移り住みました。

ある日女房と日本エアロビクスセンター(現日本メデイカルトレーニングセンター)の梅祭りに初めて行った時に遠くからエンジン音が聞こえて来たのです。近くにサーキットがあるようなのです。帰りに音を頼りに探し当てたのが、南千葉サーキットでした。

そこで初めてスポーツカートとレーシングカートと言ったのを見ました。狭いサーキットをゴーカートのような車が結構なスピードで地を這うように走っているのです。

特にレーシングカートは恐ろしいほどのスピードと甲高いエンジン音で凄く迫力でした。

しばらく見ていたら子供の頃の夢を思い出し、一回だけ乗ってみる事にしました。もちろん最初からレーシングカートには乗れません。

スポーツカートで基準タイムを切れるようにならないと乗れないのです。

当時スポーツカートは一回7周で1000円でした。

但し、スポーツカートでも時速60km/hぐらいいは出ます。

エンジンは4サイクル160ccです。ヘルメットを被り走りだしたら、超面白いのです。

地面すれすれのところを身体剥き出しで走るので体感スピードは1.5倍〜2倍!更に、サスペンション無し、シートクッション無しのため、反応は超ダイレクトでシビア!

これで面白く無い訳がありません。

僅か7分の走行でしたが、パドックに戻ってきて降りようとしたのですが、全力疾走でもしたように息は上がり汗グツグツ、腕も足もパンパンになって、立ち上がれないのです。

この1回で完全にカートにハマってしまいました。

以後半年ほど掛かって基準タイムを切れるようになり、初めてレーシングカートに挑戦しました。

レーシングカートはスポーツカートと格好は似ていますが、何もかも異なる別世界でした。

エンジンはスポーツカートより小さい僅か100ccですが、2サイクルエンジンでかつチューニングされている為、その暴力的な加速と「キッキング時の減速

G、そして凄まじいコーナリング横G、恐怖のハイスピード、と異次元の超エキサイティングな世界でした。

レーシングカートはエンジン排気量が100ccと125ccの大きく2クラスに分かれますが、100ccのクラスでも時速100km/hは出るので、体感速度は150km/h〜200km/hです。

タイヤはレーシングコンパウンドのスリック(溝無し)タイヤなので、とてもグリップ力が高いのです。

よって、コーナリングは想像を超えるハイスピードの為、横G(遠心力)で首が外側へ持って行かれ進行方向を注視するのにも容易ではありませんでした。

アクセルベタ踏みでいけると言われたコーナーがあるのですが、そのスピードでコーナーに飛び込むのは恐怖でした。最初の頃はその恐怖に負けて無意識にブレーキを踏んでいました。

ブレーキングではシートベルトも無いので、上体を支えるのはハンドルを握る両手両腕です。

数周もすると腕立て伏せでしごかれていくように腕と胸の筋肉が痛くなります。更に首が遠心力に負けて痛くなって支えられなくなります。

そうなるともう走れません。

因みに、コーナリングの横Gが一番大きな車がF1で4〜5G、次が意外にもレーシングカートの3Gと言われています。

皆さんは日産GTRと言うスポーツカーを知ってるでしょうか。サーキットではフェラーリやポルシェより速いのに価格は半分以下と驚きの車です。(半分と言っても、10万円以上し

ますが) この日産GTRは筑波サーキットの2000コースを脅威の1分1秒台で走ります。

その同じコースをミッション付きレーシングカートは57秒台で走るので。

直線の長い富士スピードウェイだと絶対スピードが高い日産GTRが優利になりますが、それでもレーシングカートの半端無い速さ/過激さが分かります。

この過激なカートのブレーキはリアにしかないのです。(フロントブレーキが装着可のクラスも一部あります) 普通ブレーキを踏むと前のめりになります。

つまり、前荷重になり後ろは荷重が抜けるのでブレーキがロックし易くなります。その為、強く踏み過ぎるとリアタイヤがロックしてスピンしてしまうのです。

コーナーにはハイスピードで進入するので最大限強力なブレーキを掛けたいのですが、ロックさせないギリギリのところを感じ取りながらブレーキを踏むのでとても神経を使います。

実は最初にレーシングカートに乗った時はその踏み加減が分からず、進入スピードの高さから強く踏み過ぎて全てのコーナーでスピンしてしまいました。

スポーツカートにはクラッチが付いてますが、レーシングカートはダイレクトなので、スピンして車が停まるとエンジンも止まってしまうのです。(最近レーシングカートでもクラッチ付きのクラスもあります)

その為、南千葉サーキットのスタップさんには都度押ししてもらい、大変ご迷惑を

掛けてしまいました。

そこで数ヶ月掛かってやっとまともなタイムを出せるようになり、いよいよ新東京サーキットでレースにチャレンジするようになりました。

新東京サーキットは自宅の直ぐ近くにあるのですが、実は市原市に引越した時にはその存在を全く分かっていませんでした。

何回か南千葉サーキットで走っている内にカート仲間から、市原市にカート専用の本格的なサーキットがあつて、そこでレースが行われていると聞いたのです。

千葉にあるのに東京デズニerlandと言うように、これも千葉にあるのに新東京サーキットと言います。

初めて新東京サーキットを見た時には、その本格的なサーキットにビックリしました。

カート用のサーキットは関東にいくつかありますが、ほとんどは駐車場のような広さのところにパイロンやタイヤを積み上げてコースを作っています。

私は日本で初めてのF1レース(1977年)を富士スピードウェイに観に行つたし、鈴鹿サーキットにもF1を観に何回か行きました。

その目で見ても、新東京サーキットは本格的なサーキットだったのです。

こんな素晴らしいサーキットを走れるのはドキドキものでした。

新東京サーキットでは3種類のレースが開催されています。

- ・入門者向け：Freshman Race
- ・中級者向け：Challenge Cup Race
- ・上級者向け：NTC Cup Race

それぞれ年間6戦闘います。

各レースはエンジン排気量や子供から大人までの年齢層別に4〜6クラスに分かれます。

レースはクラス毎に次のメニューを一日掛けて行います。

・公式練習↓タイムアタック↓予選↓決勝



私が参加しているのは、Freshman Raceの「レンタル100」と言うクラスで、名前の通り唯一レンタルのレーシングカートで戦います。

普通はマイカート(自分でレーシングカートを購入)で参戦しますが、マイカートは新車で50万円〜70万円もし、更に年間6戦出るとタイヤ、エンジンオーバー

ホール、他消耗パーツ、保管費用、練習走行等々で年間50万円〜70万円もの維持費が掛かります。

例え中古の安いカートを買ったとしても、住宅ローンと二人の子供の教育費を抱えていると年間の維持費が出ないのです。

なのでレンタルカートのクラスにならざるを得ないのですが、レンタルカートと言つてもレーシングカートなので充分過激です。

2007年に初参戦し、現在に至っていますが、レースではとても緊張しますが、他では味わえない緊張感がとても良いのです。

タイムアタックでは1/1000秒を競います。

全てのコーナーをノミスで精度の高い操作をしなければ良いタイムを出せません。

・ブレーキングは最短距離でリヤタイヤロック寸前の最大限の減速を引き出す。

・そのブレーキングでコーナー毎に異なる限界スピードに最短時間で正確に落とす。

上記作業を過酷なG環境の中で精度高く何回も行わなければなりません。



予選、決勝では、タイムだけで無く戦略/賭け引きも重要です。

具体的に書くとは長くなるので割愛しますが、単にタイムアタックで速いだけでは勝てないのです。

これがレースの面白さ/楽しさです。

また、雨のときはレインタイヤですが、雨が上がつて日が差すと走行中にどんな路面が乾いて行くので、その路面変化に合わせてリアルタイムにブレーキング、コーナーリングスピードを変化させて行かなければならず、しかも濡れた路面はレインタイヤと言えど滑り易い為ドライレース以上に神経を使います。

この緊張感と過激な刺激、賭け引きの面白さがレーシングカートの魅力です。

2013/6/1に行われたFreshman Race第3戦がYoutubeにアップされていますので、ご興味がある方はご覧下さい。

決勝だけの13分ぐらいの映像です。

F1レースもそうですが、テレビで見るとスピード感も無いし、コーナーも淡々と回っているようですが、実際は体力的にも厳しいし、とても過酷なドライブです。

<http://www.youtube.com/watch?v=RXD2F9uGYso>

今年59歳になるので後何年続けられるのかは分かりませんが、体力的に続く限りは続けたいと思っています。

もし、ご興味を持たれましたら、ご連絡下さい。

一緒に楽しみましょう。

回想「母校のさくら」

海と川と空の塾 代表 佐々木 正憲



今年が春からの異常な気象続きでさくらの開花が平年に比べて随分とおくれた。五月十九日は母校塙川小学校の春の大運動会が開かれ内孫が六年生と三年生がおり、また春に赴任してこられた石戸世津子校長から丁寧なご案内を受けていたので弾む思いで出席した。

全校児童五十九名の小規模校であるが朝の広いグラウンドでの入場行進は感動的であった、が一方あらためて少子化時代の現実に直面した思いであった。かつてふるさとの山高峰山に抱かれた塙川小学校は全校児童八百名と言われた時代があった。校舎も体育館（注：この時代は体操場と言った）もこの界限では大規模の木造校舎であった。自慢の校庭のさくらの古木は毎年春になるときれいな花を見せてくれた。

戦後新制中学校が制定され当初塙川小学校は独立校舎のない不自由を強いられ塙川小学校に併設した仮設校舎でスタートした。私たちは新制中学五期生であった。同期生一・二名は昭和二十七年三月学舎を後にした。当時中学校には独立したグラウンド（注：運動場と言った）がなかった。地域の人や中学生の勤労奉仕で近くの敷地を刈り払い、整地・造成して見事に完成実現したものだ。このグラウンドの竣工を記念して担任の石山先生の指導のもとに今のグラウンドの県道

側を中心にさくらを植樹した。このさくらが生長して満開の花をみせてくれるのは何年かかるだろうかと夢を馳せたものだった。時は流れて六十余年、いまこのさくらの木は老木となり、今にも枯死、倒れそうな姿である。毎年このさくらの木をみるごとに六十余年の歳月の流れが思い起される。今年の運動会にはこの老木にまばらではあるがきれいな花を見事咲かせてくれた。遠い過ぎし日を回想し時代の流れを追うのである。木はこの地球上の生物の中で最も長命な生きものであることを知らされた。成る程、世界自然遺産である屋久島の縄文の杉は数千年というからたかが人間の百余歳の寿命とは桁違いに長い、さくら（注：ソメイヨシノ）は六〇〜七〇年前後が寿命と言われているが母校のこのさくらはもつと長生きしてもらいたいものである。少し大袈裟であるが私はこのさくらと共に人生を歩んで来た思いを強くしている。

旧八森・峰浜の関東ふるさと会が統合して八峰町関東ふるさと会が誕生して五周年の記念すべき年にあたり増々の充実とさらなる大輪の花を咲かせてもらいたく期待する、祝意を申し上げます。ふるさと会の皆さん。機会があったら老木のさくらに会ってみませんか。



ものもの

旬のもの、
地のもの、
縁のもの。

旬のもの、地のもの、縁のもの。

地域再発見プロジェクト

地産品ショップ「のもの」@上野駅

秋田のもの
2013年
9月20日(金)
10月9日(水)

ものについて

上野駅は東日本各地へ旅立つ出発点として、東京へ向かう終着点として、親しまれてきました。そこにはたくさんの別れがあって、そしてたくさんの出会いがあります。

旬のもの、地のもの、縁のもの。

「のもの」に置いてあるのは、東日本各地で出会った、東日本の食と文化たち。それはまだ私たちの知らない東日本でした。

そのおいしさを、その場所を、その人を、もっとたくさんの人に知ってほしくて、ここ上野駅に「のもの」をつくりました。

上野駅はふたたび出会いの場所になります。どうぞご期待ください。

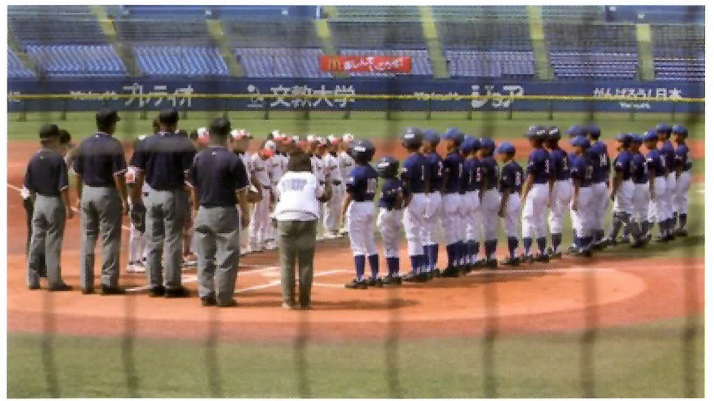


ふるさと会会員
応援販売
2012年10月26～30日
マルシェ開催

全国学童軟式野球大会

高円宮賜杯 第33回全国学童軟式野球大会に初出場した八森ブルーウェーブは6日神宮球場で5時30分に行われた開会式に臨みました。全国51チーム中43番目の入場でした。主催者「高円宮」様より激励のご挨拶を頂戴致しました。

7日予定よりも1時間遅れて、徳島県代表「助任ホークス」と対戦しました。会場の1塁側スタンドには、地元の保護者に加え、ふるさと会会員や、八峰町に縁のある方々150人を



を超える応援団、今回神宮球場初となる千葉教育長のご尽力により、光ファイバーを八峰町と繋ぎ大声援を送りました。

試合は、1回の表に1点を先取しましたが、その裏に4安打で4点を奪われ、2回裏にも2点追加され、苦しい展開となりました。選手一人一人精一杯頑張りましたが、残念ながら2対8と初戦突破にはなりません。炎天下、大舞台の緊張の為か力を十分発揮できなかった様に感じられました。

苦しい練習の末全国大会に出場出来た八森ブルーウェーブは、我々ふるさと会の誇りでもあります。



首都圏秋田県人会連合会

第52回芸能大会

日時：平成25年10月12日(土)
開演：午前10:00より
会場：豊島区立豊島区民センター
豊島区東池袋1-20-10
☎03-3984-7601

入場料：無料

.....プログラム.....

第1部 歌謡曲、舞踊、民謡(10時開演)

第2部 芸能コンクール(12時開演)

①歌謡曲の部 ②舞踊の部 ③民謡の部
終演PM4:30予定します。

皆様のご来場お待ちしております

※尚芸能大会終了後懇親会もあります。

会場：サンシャインシティ(プリンスホテルバイエルン)

時間：PM5:30～PM7:30

会費：¥6,500

平成25年文化部講演会

講演者：内館牧子氏(脚本家、作家 etc)

日時：平成25年12月12日(木)

PM16:30(開演)

会場：アルカディア市ヶ谷

参加費等の詳細は、事務局にお問い合わせ下さい。



2012年12月1日(土)・2日(日)の2日間 築地本願寺で行われた、秋田・鳥取が共催した ハタハタPRイベント



つみれ汁、寒いのためか、
けっこうな売れ行き。
ありがとうございました。



◀秋田県の出店ブース。
ハタハタ以外にも県産品などが
盛りだくさん。

親睦・旧交を深め大盛況だった

第4回 八峰町関東ふるさと会 **スナック**

2012年11月18日(日) 千代田区 於アルカディア市ヶ谷

第4回 八峰町関東ふるさと会 総会



須藤議長乾杯のご発声



加藤町長あいさつ



神馬会長あいさつ



一年振りの再会でポーズ!



きりたんぼは人気一番!



おいしい料理に舌鼓



同級会を兼ねてみんなで参加



八峰町出身のシンガーソングライター YOKO 熱唱



今年もお会いできてうれしいです



お楽しみの抽選会。だれにあたるかな？



来年もまた会いましょう



町長を中心にみんなで町民歌を歌唱



抽選会で町長賞ゲット!!

町からも参加協力。ありがとうございます。



町の取り組みをPR



花火大会へのご協力を



ふるさとの逸品を持参

ご存知ですか？

ふるさと納税制度

ふるさと納税制度とは出身地などの地方公共団体を応援する制度です。
 一般的にふるさと納税と呼ばれていますが、直接ふるさとに納税するのではなく、ふるさとなどの地方公共団体に寄付をした場合に、その一部が個人住民税・所得税から控除される(税金が安くなる)制度で、結果として、その控除された部分をふるさとに納税したのと同じ効果が生じるというものです。

地方公共団体へ2,000円を超える寄附をした場合に、**2,000円を超える額を、住民税や所得税から控除(差し引く)**されます。

※税金の控除を受けるためには、最寄の税務署または住所地の市区町村への申告が必要です。
 また、控除には住民税に応じて上限があります。



祝 日本ジオパーク認定 八峰白神ジオパーク
 日本一小さいジオパーク誕生
 ～祝!! 八峰白神ジオパークが日本ジオパークに認定されました～



秋風を受けながら親子で心地よい汗
 ～第7回シーサイドロードレース大会～



12月2日 日本ジオパーク認定記念
 セレモニーを開催しました



地域の安全を胸に
 ～八峰町消防団出初式～



あでやかな着物姿で厄払い
 ～白瀑神社～



寒さをふきとばせ!!
 ～チビッコ冬まつり～



わくわく! どきどき! 1年生
 ～水沢小学校入学式～



「トントン」とリズムカルにコマを打つ
 ～キノコの植菌体験教室～

広報はっぼうでみる

八峰町の 出来事

.....

広報「はっぼう」のお申し込みは
 八峰町役場企画財政課まで
 TEL. 0185-76-4603
 FAX. 0185-76-2113
 年間購読 2000円(毎月1回発行)

目次 Contents

はっぼう

2013 8月号 ● No.89 ●

- 八峰町ジオパーク
- ふるさと納税制度
- 定住推進委員会
- 多岐町立北原小学校の開校
- 水沢小学校
- 水沢小学校1年生
- 水沢小学校1年生
- 水沢小学校1年生
- 水沢小学校1年生

祝!! 八森ブルーウェーブ全国大会出場へ
 ～第33回全日本学童軟式野球秋田県大会優勝～

東京新聞書作展審査会員
東京新聞委嘱作家
日本教育書道藝術院同人

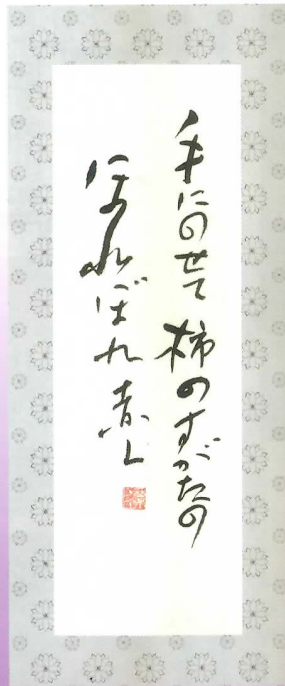
島田 飛翠さん作品

八峰町出身。今春、銀座鳩居堂にて第七回目の書作展を終え、夏には新国立美術館に作品展示。

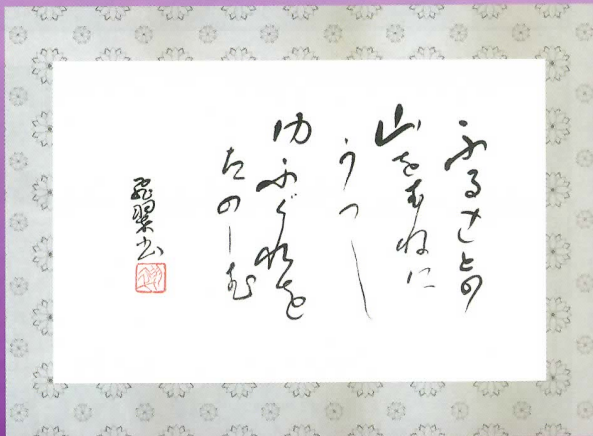


遊

手にのせて柿のすがたの
ほれほれ赤く
(種田山頭火の句)



鳳凰



ふるさとの山をむねにうつしゆふぐれをたのしむ
(八木重吉の句)

能代市新山前 建学会 好評開催中!

オール電化だからこそ「木炭&ひば&珪藻土パワー」健康住宅しかもからエコボード

健康家族

子供の健康に良い健康住宅。

相風が好きか、洋風が好きか、健康を考えるか...高田住宅の提案です。

食べ物で一番おいしくないのは「塩」である。だが、一番おいしいものも「塩」である。塩の入れ加減で味がおいしく変わる。ご来場の際は、八峰「白神の塩」粗品差しあげます。

建学会会場 七号館

木をふんだんに使ったリビング&キッチン

暮らし場のITスペース

落ち着いたおも和風スペース

階段下の有効収納スペースは必須

木炭&ひば&珪藻土&UV-C

家がなるなる 高田の大家

http://www.takajuu.co.jp

信頼は時の流れを超えた絆です

高田住宅工業株式会社

ISO9001:2008取得 顧客の要求を満足させる品質を堅持し、社会に貢献する

〒951-8501 能代市八幡町7-1 TEL:0156-5411 FAX:0156-5412

〒951-8504 能代市西町7-1 TEL:0156-5044 FAX:0156-5045

〒951-8508 能代市東町4-3 TEL:0156-5451 FAX:0156-2156

〒951-8510 能代市八幡大町15-10 TEL:0156-7773 FAX:0156-7774

www.takajuu.co.jp

四季の語らい、
くつろぎのひととき。



<http://www.arcadia-jp.org>

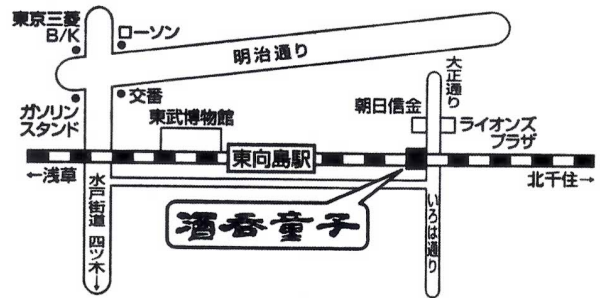
BANQUET ACCOMMODATION RESTAURANT
宴会・会議 宿泊 レストラン

アルカディア市ヶ谷 JR線・地下鉄(有楽町線・新宿線・南北線)市ヶ谷駅 徒歩2分
〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25
TEL 03-3261-9921 FAX 03-3261-7760
私学会館

秋田料理

各種御宴会の
御予約承ります。

酒香童子
ひゃ てん どり び



〒131-0032 東京都墨田区東向島4-43-10
TEL.03-3619-1676

火 ホルモン
サカイ食堂

東京都墨田区東向島2-15-3
TEL.03-3616-8929
<交通>東武伊勢崎線「曳舟駅」より徒歩1分

酒場
サカイ酒場

東京都千代田区東神田1-14-14
TEL.03-3864-5229
<交通>JR総武線「馬喰町駅」④出口より徒歩1分
都営新宿線「馬喰横山駅」A1出口より徒歩2分

焼 地酒焼
サカイ鳥之助

東京都墨田区東向島2-11-21
TEL.03-3612-4129
<交通>東武伊勢崎線「曳舟駅」より徒歩2分

NPO法人
白神ネイチャー協会

白神ネイチャー協会の活動内容、入会申込等につましましては、下記までご連絡ください。

会員及びボランティア参加者募集

世界遺産に登録された白神山地周辺部でブナの森づくり活動を通して、白神山地世界自然遺産地域の保全を確実なものとし、また、ブナの森づくりを行うことによって、白神の森から良質で良好な水の供給を図り、地域のシンボルであるハタハタ等の魚類の産卵ふ化する藻場「海の森」の再生につなげます。

白神山地 植えようブナを、育てようあなたの心

白神ネイチャー協会事務局

TEL:0185-70-4211 FAX:0185-70-4214

URL <http://www.shirakami.or.jp/~asna/index.html>

小物農機レンタル!

(レンタル機につきましては、1日以上とさせていただきます。)

機種	使用	料金	準備台数	機種	使用	料金	準備台数
高負動噴霧器	噴霧用	1日3,000円	2台	高切機	乗用型	1日5,000円	2台
動力散布機	粉と粒	1日3,000円	2台	管理機	耕巾500mm	1日3,500円	3台
エンジンポンプ	φ25mm	1日2,000円	3台	高速洗浄機	小型4馬力	1日3,500円	1台
刈払機	高負・高掛	1日3,500円	5台	充電機	100V・交流12A	1日3,500円	1台
チェーンソー	中 型	1日3,500円	3台	ウイングモア	φ700mm	1日4,500円	1台
ハウス用オーガー	φ35mm	1日3,500円	1台				

ご来店をお待ち致しております。

農家のパートナー
小物農機・販売サービス (AV) アシザキ NOUKI
〒018-2504 山本郡八峰町峰浜石川字外林33-21 TEL・FAX 0185-76-2884

病院からもらった処方箋の事など、
お薬のことなら専門の薬剤師が丁寧に説明をいたします。



LINUS PHARMACY

ライナス薬局

TEL.0185-70-4160

FAX.0185-70-4170 八峰町八森字古屋敷13-6

月～土/朝8:00～夜7:00
休日/日・祝日



秋田の伝統色 飯ずし

鮓ずし

(マリネ、ハタかま、鮓ずし) 発送承ります!!

秋田・味めぐり一番所はちもり

⊕ (株)鈴木水産

☎ 0120-022170 FAX 0185-77-3601
 URL <http://www.suzuki-suisan.co.jp/>
 E-mail suzuki@suzuki-suisan.co.jp

白神山地の天然湧水仕込だけで
 酒造りを行なう全国で唯一の蔵元



白瀑

八峰町八森字八森269

TEL/0185-77-2311 FAX/0185-77-2312

ふるさとの味と香り、おいしさそのまま贈ります。



秋田名物
 きりたんぼセット

地方発送
 承ります

10月上旬から
 2月下旬まで
 発送いたします。

申し込みご予約は

TEL.0185-76-2529 FAX.0185-76-3156

〒018-2507

秋田県山本郡八峰町峰浜田中字大土面 17 レストラン 峰

昔懐かし、ふるさとの味

おやき



セキトの「おやき」は9月上旬から翌年3月下旬までの“季節商品”です。
 八峰町へお戻りの際は、是非“焼き立て”をお召し上がりください。



味と心で ぐあいさつ

株式会社 セキト

www.sekito.net

●上町本店 〒016-0817 能代市上町12-2

TEL.0185-54-3131

地方発送のご注文はこちらへ

FAX.0185-54-2433

日本海を一望できる木・岩の露天風呂



美味しいお料理とあったかい温泉で
 心と体を癒してください

ご宿泊

- 美しい景色を一人占め
 - 特別な時間をゆったりと過ごす
- 八森いさりび温泉

ハタハタ館

ホームページ: <http://www.hatahatakan.jp/>

秋田県山本郡八峰町八森字御所の台51番地

TEL: 0185-77-2770(代)

太陽光^{発電}システム LED照明
ご相談ください!

Smart Eco Life Akita
SELAグループ
SELAシロキ

Panasonic エルポートシロキ

八峰町八森字中浜 TEL 77-2323・FAX 77-2324

♪～カラオケサロン～♪
 みんなの
水 沢

【営業時間】
 昼(カラオケ) 正午～午後5時
 夜(スナック) 午後7時～午後11時
 【定休日】水曜日
 能代市東町3-1 田村ビル ☎0185-54-1770
 笠原均・いさ子



♪皆様のご来店お待ちしております♪

子どもに夢を! 誇れる郷土を!
 地域に活力を!

第28回雄島花火大会

8月15日打ち上げ(毎年)

雄島花火実行委員会

委員長 諸 沢 英 紀

世界遺産 白神山地の麓のゴルフ場

黒松林と日本海の風があなたのライバル

能代カントリークラブ

〒018-2507 八峰町峰浜田中字大土面18
 TEL: 0185-76-3311 FAX: 0185-76-3009




 経営労務総合研究所

(財)日本経営教育センター(JMEC)
 コンサルタント事業部
 経営労務コンサルタント(全能連登録)

代表 松尾長二郎
 (機械科昭和25年卒)

事務所(自宅)
 〒157-0077 東京都世田谷区鎌田3-33-2-105
 TEL/FAX 03-3417-1860

産地形成促進施設

「おらほの館」

旬の野菜がどっさり
 地方発送も
 いたします。



「新鮮・旬・野菜と特産の石川そば処」

〒018-2509
 秋田県山本郡八峰町峰浜沼田字沼田ホンコ谷地147-6 道の駅となり
 TEL・FAX 0185-76-4649
 mail: orahonoyakata@shirakami.or.jp

白神の海と大地の夢を育む

白神八峰商工会

会長 大森 三四郎

TEL:0185-77-3161 FAX:3008
 秋田県山本郡八峰町八森字中浜41-3



あわびの里づくりまつり

平成26年8月上旬開催予定

☆参加者には2年後に収穫に応じて
 「あわび」をお送りします。

能代の食材で お・も・て・な・し

酒楽 こてらんこ KOTERANKO

藤岡 洋子(能代市出身)



03-6803-0239


〒110-0015
 東京都台東区東上野1-19-2
 第2鈴木ビル1F

秋田料理
居酒屋 秋田おばこ

埼玉県川口市戸塚2-23-28
TEL. 048-294-1856

高沢 すな (八峰町出身)

-支え合おう東北-
えがおのあなたが見たいから…

皆川薬局 

どちらの処方せんでもお受けします。

薬剤師 皆川鉄治・山脇一輝・山脇真理
八峰町峰浜沢目駅前 TEL.76-2052・FAX.76-2199

営業時間 7:00~20:00/休業日 日曜日・祝祭日

白神山地から湧き出る天然水と、地元農家の青大豆のみを使用

究極の美味 グリーン豆腐

従来の豆腐より栄養価が高く
ほんのり緑色で甘味があり、こくが深く、
美味です。

◇◇◇◇ 松岡食品 おかげさまで創業 65 年を迎えました ◇◇◇◇

〒018-2664 山本郡八峰町八森字古屋敷 43-3
松岡 清悦 ・ 松岡 清也
TEL 0185-77-2024 FAX 0185-77-3646
E-mail : info@matsuoka-foods.com



◆◆◆ 和洋菓子舗 ◆◆◆

新商品
白神の塩
焼きドーナツ

レアチーズケーキ
始めました

チーズブッセ・カステラドーナツ

美味しいお菓子の店 **高峰堂**

八峰町峰浜埜字豊後長根145 TEL0120-89-2041

営業時間 7:00~20:00 年中無休

あふれる緑、大地と共に輝く未来

 **秋田やまもと農業協同組合**

本 店 〒018-2104 秋田県山本郡三種町鹿渡字町後 270
TEL:0185-87-4600(代) FAX:0185-87-4200
代表理事組合長 米森 萬壽美

八峰支店 〒018-2503 秋田県山本郡八峰町峰浜埜字豊後長根65-1 TEL:0185-76-3151(代) FAX:0185-76-3959






日本海の旬の魚
家庭へ届けます

0185-77-2555

2255



秋田県山本郡八峰町八森字横間 156 番地先
秋田県漁業協同組合
北部総括支所

第5回八峰町関東ふるさと会総会・懇親会

友人・知人をお誘いの上お気軽にお越しください 平成 25 年 11 月 17 日 (日) 開催



特別ゲスト 麻里侑加さん

歌手になる夢をもって
18歳で上京したが、
1年で断念。
しかし数年前からもう
一度、夢に挑戦。
小さくても明日の目標、
夢を持って♪まだまだ、
これから♪
常に前を向いて歩いて
いきます!



物産販売
開催!!

- ◆ 受付：11時00分～
- ◆ 総会：12時00分～12時30分
- ◆ 懇親会：12時30分～15時30分
- ◆ 懇親会費：6,000円
(学生は3,000円、小学生以下は無料)
- ◆ 年会費：1,000円



◆ 会場：アルカディア市ヶ谷

〒102-0073

東京都千代田区九段北 4-2-25
03-3261-9921 (代表)

- 地下鉄有楽町線・南北線
市ヶ谷駅 A1-1 出口
- 地下鉄新宿線 市ヶ谷駅
A1-1 または A4 出口
- JR 中央線(各駅停車) 市ヶ谷駅

上記各出口から徒歩約2分

駐車場は使用出来ませんので、
JR / 地下鉄をご利用ください

八峰町関東ふるさと会・役員一覧

- 会長：神馬 信一
- 副会長：麻木 固磨、内山 由子、
北郷 洋子、信太 吉右工門、
戸田 眞里、福田 稔、干場 革治
- 幹事長：成田 勘一
- 副幹事長：船越 鉄実、芹田 忍
- 幹事：大久保 澄子、黒浜 茂子、
白木 仁、丹波 テツ子、
矢野 忠司、本多 義春
- 監査：菊地 弘美、鈴木 輝志郎
- 顧問：加賀谷 光丸、富岳 智猛、
藤田 秀夫、秋山 芳輝

- 発行：八峰町関東ふるさと会
- 発行責任者：神馬 信一
- 編集委員：成田 勘一、北郷 洋子、丹波 テツ子、芹田 忍

八峰町関東ふるさと会事務局
〒184-0001 東京都小金井市関野町一―三―三五 成田 勘 一 方
TEL / FAX 〇四二―三三―八三〇二七八

◇事務局からのお願い
ふるさと会事務局では、幹事になって頂ける方を募集
しています。事務局まで一報頂ければ幸いです。
総会には多くの皆さんが参加する事で盛り上がり
ます。どうぞ今回もこそぞって参加くださる事を心から願
い致します。

◇編集後記
お陰様で、第四号の会報発行となりました。八峰町町
長をはじめ、関連の方々からのご寄稿、そして、会員の
皆々様からの投稿を頂戴出来ましたことに、担当者一同
より心からお礼申し上げます。
ふるさとを想う気持ちは、いつまでも変わりなく、懐
かしく、心が温まることを今一度、実感しております。
私事ですが、今夏も雄島の花火大会をみせていただき
ことが出来ました。夜空に澄色に輝く、大きな半月が迫
り、大輪の花火にますます彩りを加えてくれているよう
な夜景は、素晴らしいものでした。今でも目に焼きつい
ています。(北郷)